

新市民会館整備の状況 についてお知らせします

市では、「多様な人々の交流と多彩な文化が織りなす、ひと・まちが輝くステージ」の実現を目指して、水戸芸術館と国道50号の間の敷地に、市街地再開発事業により新

市民会館の整備を進めています。詳細は、市ホームページをご覧ください。

問合せ／文化交流課新市民会館整備係(☎231-7070)

設計者を選定しました

平成27年12月から、設計者を選定するための公募型プロポーザルを行いました。56社から技術提案書の提出があり、代表企業参加者、市内企業参加者をそれぞれ評価し、設計者を選定しました。

代表企業最優秀者 株式会社伊東豊雄建築設計事務所

市内企業最優秀者 株式会社横須賀満夫建築設計事務所

市は今後、代表企業最優秀者と市内企業最優秀者により結成される設計共同企業体を、設計業務の発注者である泉町1丁目北地区市街地再開発準備組合に推薦します。

◆伊東豊雄建築設計事務所の提案の概要◆

- ・建物を包むやぐら状の木組みが、水戸藩城下町の記憶をよみがえらせ、活気を生み出す
- ・骨太な木組みでやぐら広場を形成し、「毎日が祭り」のような親しみやすい空間を提供する

提案された施設イメージ



管理運営の方向性

新市民会館の管理運営の方向性を示す、管理運営基本計画の策定を進めています。

運営目標 人が集まり、にぎわい、市民の活動をはぐくみ、ひと、まち、文化がつながる市民参加の運営を目指して

計画の内容

- 【事業計画】魅力ある公演や大規模イベントの積極的な誘致、市民利用の支援など
- 【運営体制】積極的な営業活動の実施
- 【広報計画】新市民会館への「愛着」の醸成、施設イメージの醸成
- 【利用規則】多くの市民が気軽に利用できる開館日・開館時間など

目標数値

来館者数 年間 **60** 万人

より多くの市民参加を目指して

市民参加による運営委員会の検討、市民ワークショップの実施など



概算事業費と財源計画

概算事業費の市の実質的な負担額を約4割軽減します

新市民会館の概算事業費は192億円を見込んでいますが、国の補助金などを活用することで、**実質的な負担を117億円に軽減**します。

整備を推進しつつ健全な財政状況を維持することができ、市民サービスが後退することはありません。

概算事業費	財源内訳			交付税措置見込額(c)	市債実質負担(d=a-c)	実質的な市の負担額計(b+d)
	国支出金	市債(a)	一般財源(b)			
192億円	12億円	148億円	32億円	63億円	85億円	117億円

概算事業費の内訳

保留床取得費	160億円
舞台等関連工事費	22億円
備品購入費	8億円
その他経費	2億円

財政調整基金を活用して平成32年度までに支出見込み

平成32年度から平成52年度まで市債を約20年で償還

高橋市長が動画で事業を説明しています

4大プロジェクトの現在の状況や新市民会館の立地、整備費用などについての詳しい説明や、市長の思いを動画で紹介しています。

4大プロジェクトと新市民会館整備事業

検索